



病後児保育施設 にじっこルーム だより No.13

令和元年 11月

日が沈むのが日に日に早くなり、木枯らしの吹く季節となりました。10月にたくさん実がなったりハビリ庭園の柿の木の葉も段々と綺麗に紅葉し始めました。また、真っ赤に紅葉したハナミズキの葉や赤い実など美しさや楽しさも満喫しています。

今年も本格的な台風シーズンを迎えました。9月・10月と台風による大きな被害が各県で相次いでいます。被害を受けられた皆さまの一日も早い復興をお祈りします。



乳児用液体ミルクをご存じですか？

厚生労働省は、平成30年8月に乳児用液体ミルクの安全基準の法改正を行い国内製造・販売が解禁になりました。これにより、乳児用液体ミルクが、特別用途食品としての基準を満たし実際に国内で販売されるようになったのは、平成31年3月からでした。国内販売開始から半年が過ぎ、鳥取県内の店にも乳児用液体ミルクが販売されているのを見かけるようになりました。母乳での育児を推奨する動きが広がっている中で、これから、液体ミルクが消費者の支持を得られるか先行きはわかりませんが……。先日、鳥取の某販売店に販売状況を尋ねたところ、“赤ちゃんを連れての外出に負担を感じず楽しめる・家族に赤ちゃんを預けて仕事や用事など出かけやすくなった・災害時の備蓄用として”等、お母様方からの声が聞かれるようです。また、7月の西日本豪雨の際も東京から被災地に乳児用液体ミルク約2,000個が送られました。災害に備え、日本各地で液体ミルクの備蓄が理想的だと思いますが、これからの実現に向けて期待したいと思います。

鳥取県東部で流行している感染症

鳥取県感染症発生動向調査情報（週報）第42週（令和元年10月14日～10月20日）によりますと、現在県内で流行している感染症は、ヘルパンギーナ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・伝染性紅斑・RSウイルス感染症・水痘等です。鳥取県感染症情報センターのHPを利用して流行情報をチェックしましょう。

インフルエンザにご注意



インフルエンザが散発しています。鳥取県は、他県に比べるとまだ流行していませんが、油断せず子どもさんにこんな症状が見られたら気を付けてください。

- 突然、高熱が出て全身の倦怠感・筋肉や関節に痛み。咽頭痛・咳・くしゃみ・鼻水・嘔吐・下痢・腹痛等の症状。
- 2～3日で熱は下がっても全身症状は一週間くらい続きます。

インフルエンザにかかった後、にじっこルームを利用されるときを目安。

発症→診断確定→投薬→解熱後1日経過している。
(抗ウイルス薬服用後37.5℃以下が24時間以上経過している状態)

〔問い合わせ〕

鳥取市児童健康支援センター病後児保育施設
「にじっこルーム」
鳥取市市場一丁目1番地 鳥取市立病院内
(TEL) 0857-37-1577

他の病気に関する利用判断基準も市立病院HPの中の、にじっこルームのページに載っていますのでご覧ください。